

熊本地震災害派遣薬剤師・九州ブロック現地活動報告 No.4

平成 28 年 4 月 24 日

- 【派遣日程】 4月20日（水）～4月21日（木）
- 【報告者】 福岡県 福元 哉史
- 【メンバー】 澁江 亮子，平位 浩一，福元 哉史
- 【派遣先】 益城町 総合体育館
- 【交通状況】 久留米 IC～南関 IC 降り、県道 10 号走行→国道 208～501 号で南下
→市内へ入り熊本県薬剤師会館へ到着（所要時間 3 時間半）
熊本県薬剤師会館～益城町総合体育館までは渋滞回避のルートを県薬で
受け取る。国道 266 号の渋滞以降はスムーズに走行（所要時間 1 時間弱）
- 【ライフライン】 水道なし（ペットボトルの水は過剰にあり）
電気 OK（時々停電） ガス未確認
スペースはテント内と体育館内に仮眠スペースあり
- 【活動内容】 調剤業務 OTC 医薬品発注 ノロ対策・エコノミークラス症候群注意
勧告 CO2 測定 他
- 【状況】 調剤業務は日赤のストック、熊本県薬のストックで対応。
日赤の採用医薬品がチームごとに違い、多少混乱はあった。
前半は手帳等で品目確定した場合、同効薬で対応。
後半発注制限がなくなった以降はその銘柄を発注。
OTC は 2 件対応。
調剤対応は記録手元になし（カルテにて対応数は一日ごとにチェック記入）
ノロ対策・エコノミークラス症候群については前日の車中泊に加え館内の
声かけも行った。
CO2 温度 湿度 2 回測定し換気の状態を確認（当日大雨につき換気は十
分できず、各部屋の窓の開閉の仕方を確認した程度）。
- 【概要】 調剤業務は限られた在庫ではあったがなんとか対応でき特に大きな問題は
なかったが、21 日になって館内にて持参したお薬が切れる時期になられた
被災者から相談を受けるようになり、お薬手帳で確認できた品目は発注し
納品後の受診を勧めた。エコノミークラス症候群の声かけにて発症の未然
回避につながったことは大きい。
今後、換気の問題や、今後の温度上昇で悪化するであろう環境や衛生の管
理等を引継ぎし終了。

-
- 【派遣日程】 4月20日（水）～4月21日（木）
- 【報告者】 宮崎県 安藤 潤
- 【メンバー】 猿川 隆文, 中津留 敏裕, 中村 隆介, 安藤 潤
- 【派遣先】 阿蘇熊本空港ホテルエミナース
- 【交通状況】 宮崎県薬 → 5時間 → 熊本県薬 → 1時間 → 派遣地
現在は益城インターでの出入りが可能（緊急車両のみ）
- 【ライフライン】 電気○、ガス不明、水道△（飲料×）、建物内宿泊制限あり（3歳以下、60歳以上、持病持ち）、駐車場は車内泊の車であふれており災害派遣車両の駐車は困難
- 【活動内容】 4/20 12:00 ○熊本県薬剤師会到着。支援物資（水20L×10）お渡し。
13:00 ○ホテルエミナース(避難所)到着。申し送り。業務引き継ぎ。
宮崎県担当は避難所2カ所。「ホテルエミナース」「広安西小学校」各2名ずつに分かれて業務開始。「広安西小学校」に関しては別紙にて報告。
○20日より派遣されていた「姫路赤十字病院医療チーム」と共に、救護室にて調剤業務（54名）、お薬相談窓口・OTC対応業務（25名）実施。
○「姫路赤十字病院医療チーム」の診察業務は16:00で終了。医療チームミーティングへ参加。感染ゴミ処理、トイレ等の衛生管理、備蓄薬品目に関する提案を実施。
○お薬相談窓口・OTC対応業務は原則24時間対応にて継続。広島県薬剤師会、山口県薬剤師会と分担し、3時間毎交代制で担当。
○ロビー中央に開設されている看護師協会の「健康相談窓口」業務のサポート業務（お薬相談、OTC対応）も平行して実施。
（24時間体制）（32名）
○夜間車中泊者を対象に、看護師と共に巡回。診察の必要性を感じた者に受診勧告。DVT予防を呼びかけ。（避難者全員約2,000名対象）
- 4/21 3:00～6:00 ○夜間お薬相談窓口業務（3名）実施後、通常業務へ。
（3薬剤師会合同）
7:00 ○避難所内全トイレ（仮説含む）6カ所に対して、「清掃状況」「衛生状態」「手消毒用アルコールの残チェック」業務を実施。

- 9:50 ○「姫路赤十字病院医療チーム」ミーティングへ参加。
診察時間外業務結果を報告。受診勧告を行った患者に関して
申し送りし、予想される疾患別に新たに備蓄した医薬品を連
絡。
- 10:00 ○昨日同様、「姫路赤十字病院医療チーム」と共に、救護室
にて調剤業務(35名)、お薬相談窓口・OTC対応業務(5名)
実施。
- 13:00 ○次班現地到着。依頼した物資(経口補水液、経口補水ゼリ
ー、カロリーゼリー、消毒等)受け取り。申し送り・業務
引き継ぎを終え、交代。

-
- 【派遣日程】 4月21日(木)～4月22日(金)
- 【報告者】 福岡県 田中 孝一
- 【メンバー】 井上 富夫, 元吉 博之, 高崎 修二, 田中 孝一
- 【派遣先】 益城町総合体育館、その他
- 【交通状況】 折尾駅から熊本駅までJR在来線使用、特に問題無し。
熊本駅から熊本県薬剤師会館までタクシー使用、特に問題なし、熊本県
薬剤師会館から派遣先まではレンタカー使用、道路事情は余震、雨の状
況で日々変化あり。
- 【ライフライン】 電気は通常どおりだが、水道は復旧していないため、自衛隊の給水車
のみが頼り。スペースは室内1,000人規模での収容のため手狭ではある。
さらに野外では車中に1,000人ほどの避難者あり。
- 【活動内容】 熊本薬剤師会のリーダーの割り振りで、日赤のテント内での投薬。公衆
衛生面強化のための感染防止作業。エコノミー症候群防止のための啓発
活動を野外で車中泊の被災者に行う。更に被災者への声かけを行いなが
らより相談しやすくするため目に付きやすい場所に「お薬相談室」のブ
ースを作ってプライバシーに配慮しながらお薬相談のみならず、いろん
な相談に乗れる場所を確保。

-
- 【派遣日程】 4月21日(木)～4月22日(金)
- 【報告者】 福岡県 川本 亮
- 【メンバー】 内田 政光, 青山 さつき, 川本 亮

- 【派遣先】 益城総合体育館
【交通状況】 高速道路は益城空港 IC まで利用できる。
【ライフライン】 電気は通っているが、ガス・水道は×。
【活動内容】 主に避難されている方への調剤・投薬
-

- 【派遣日程】 4月22日（金）～4月23日（土）
【報告者】 福岡県 橋本 維
【メンバー】 三ツ木 健恭, 千代丸 康重, 橋本 維
【派遣先】 益城町総合体育館
【交通状況】 北九州～植木 IC～国道3号線（約15km 渋滞）～熊本県薬（約4時間半）
熊本県薬～総合体育館（通行止め区間もあり、約1時間）
【ライフライン】 電気は○、ガス、水道なし（飲料水は支援物資より、手洗い、トイレの水は自衛隊、日本赤十字社からの供給あり）
【活動内容】 日本赤十字病院、国立病院医療機構の医療チームの処方調剤。
受付時からなるべく患者様に1人薬剤師がつき、診療の際は立ちあって、聞きながら在庫と照らし合わせ処方提案。ない場合は変更可能な代替薬があれば伝え、カルテに基づき、調剤、監査、服薬指導を行う。
お薬相談ブースにおいては、ある OTC で対応可能であれば説明して渡し、できない場合は受診勧奨をする。そのほか周辺の医療機関の開院、開局状況を調べ今後の受診について助言などを行う。
そのほか各派遣薬剤師が互いに協力して薬品棚の配置の整理、在庫薬のリスト（更新可能）、周辺の医療機関の開院開局状況リストを作成。
今後、交通手段がないとの理由で、病院受診できない方が出てくる可能性もあり、そのような方への対応が課題と考えられる。